

令和4年度実施事業

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績	担当課
1 大鰐町における安定した雇用を支えるおしごとづくりの創出	① 地域の産業を活かしたしごとづくり	農業就業者への支援	農業人材力強化総合支援事業	青年就農者の意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な経営開始直後の所得を確保するため給付する。 年間150万円（夫婦の場合は225万円）を最長5年間給付する。（ただし、前年の世帯所得が600万円以上の方は交付対象外）	18,330	交付人数 14人（内夫婦2組） 平成30年度：1人、令和元年度：1人、令和2年度：2人、令和3年度：9人（内夫婦2組）、令和4年度：1人	農林課
		農業生産活動の支援	多面的機能支払交付金事業	地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源（水路・農道等）の質的向上を図るため、中山間直接支払の非対象農用地に対する水路・農道等の維持管理（地域活動）に支援する。	1,182	交付実績：（2組織）R2～R6 対象面積：田 23.98ha、畑 3.55ha 計 27.53ha	農林課
			中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域における多面的機能の維持・増進を図るため、自立かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取組みを実施するために交付金を交付する。	29,807	交付実績（16集落協定） ・交付対象面積等 対象戸数：633戸、 対象面積：田 1,914,461㎡、畑 3,012,345㎡、計 4,926,806㎡	農林課
		農業経営負担の軽減	果樹共済加入率向上推進事業	果樹共済の加入率の向上を図り、自然災害に強い経営を図るため共済掛金の10%を助成する。	480	対象者 127名 総合 10% 対象面積 122.9ha ※結果樹面積 945ha 加入実績 13.0%	農林課
			園芸施設共済推進事業	園芸施設共済の加入率向上対策として加入にかかる経費の25%を助成。	548	対象者 71戸 加入棟数 401棟	農林課
			収入保険加入促進事業	農業者の経営努力では避けられない、自然災害や農産物の価格低下などによって売上が減少した場合に、その減少分の一部を補償する保険の加入率向上対策として、加入にかかる経費の30%を助成。	2,095	対象者 77戸	農林課
	農業経営体の育成	農業生産施設整備促進事業	ミニトマト、トマトなどの生産組合の簡易ハウス等整備助成（上限1/2）並びに付属機械類等の購入助成（上限20万円）等	9,975	・簡易園芸施設の助成：ミニトマトビニールハウス 5棟 ・園芸作物用機械等の助成：ミニトマト選別機等 8件	農林課	
	② 働く場づくり	企業誘致	企業誘致推進事業	青森県企業誘致推進協議会負担金	35	青森県企業誘致推進協議会は、県内の企業立地促進のため、企業誘致戦略研修や広報宣伝活動等を行っている。 また、効果的な企業誘致活動を行うため、当協議会会員等を対象に都市圏で勉強会を実施しており、当町職員も出席している。	企画観光課
		起業・創業支援	選ばれる青森への挑戦資金事業	選ばれる青森への挑戦資金の融資を受けた方に対して、県による信用保証料の30%補給後の信用保証料を全額補給。 融資額 1,000万円以内 融資期間 運転資金：10年以内/設備資金：15年以内	636	実績6件	企画観光課

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績	担当課
			空き店舗等活用 創業支援事業	町内の空き店舗等を活用し、事業を開始する方に対して、空き店舗に係る経費を一部助成。 【支援内容】 ①令和3年10月1日以降に本町に転入した個人または本町に本店を移転した法人・・・上限100万円 ②現在町外に住所を有している個人または本店を有している法人で、実績報告書の提出期限までに本町に転入または本店を移転する予定のもの・・・上限100万円 ③上記以外のもの・・・上限50万円	909	実績2件	企画観光課
2 結婚・出産・子育てなど“お若い世代の希望”を実現	① 出会い・結びを育む	出会いの場創出・結婚祝福推進	婚活支援事業	弘前圏域定住自立圏8市町村が連携し、結婚を希望する独身の方に対し、より多くの出会いの場を提供するためのイベントを開催。	239	弘前圏域事業により、「里山サイクリング&フィッシングツアー」、「魅力アップセミナー&交流会」などの婚活イベントを実施。 ひろさき広域出愛サポートセンター（弘前市ヒロロ）において、会員登録者数を増やすために、休日登録会を実施。 令和4年度：成婚件数6件（うち大鰐町1件）	企画観光課
			結婚新生活支援事業	少子化対策や活力あるまちづくりを推進するため、令和4年1月1日以降に婚姻した方に対し、婚姻に伴う新生活に係る費用（住宅費、引越費用、リフォーム費等）を助成。	0	助成件数 0件	企画観光課
	② 産み・おおわにっ子”を育てる	安心して出産できるまちづくり	妊産婦健康診査事業	妊産婦の健康診査を医療機関に委託し実施することにより、妊産婦の健康管理の向上を図る。（妊婦委託健康診査受診14回分助成、多胎妊婦については最大7回まで追加。産婦健康診査1回分助成）	2,974	妊婦健康診査 実35人、延296人（1～14回） 超音波検査 98人（延）、子宮頸がん検査 25人、HTLV-1抗体検査 25人、ラクトパチルス検査 25人、性器クラミジア検査 25人、妊婦歯科健診 6人 産婦健康診査 22人	保健福祉課
			不妊治療費給付事業	■特定不妊治療費助成事業 不妊治療を受けている夫婦に対して、医療保険適用の生殖補助医療に要する費用の一部を助成する。 【対象者】 ①夫婦のいずれか一方が大鰐町に住所を有し、実際に居住している。 ②町税に滞納がない。 ③治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満 ■一般不妊治療費助成事業 不妊治療を受けている夫婦に対し、一般不妊治療に要する費用の一部を助成する。 【対象者】 ①不妊治療によらなければ妊娠の見込みがない、または極めて少ないと医師に診断されている。 ②夫婦のいずれか一方が1年以上前から大鰐町に住所を有し、実際に居住している。 ③町税に滞納がない。 ④治療期間の初日における妻の年齢が35歳以下	181	助成件数 ・特定不妊治療：3件 ・一般不妊治療：2件	保健福祉課
			風しんワクチン接種支援事業	妊婦等に対する風しんの感染予防を図り、先天性風しん症候群の発生を未然に防ぐことを目的に、風疹抗体検査を必須要件とし、風しん予防接種費用の助成。 【対象者】 大鰐町に住所がある方で、下記に該当する方。ただし、妊娠中の女性、過去に風しん抗体検査を受けたことがある方や風しんに罹ったことがある方を除く。 ①妊娠を予定または希望する女性とその夫、②妊婦の夫、③40～57歳男性 【支援内容】 風しん抗体検査、風しん予防接種ともに無料	1,125	予防接種 15人 抗体価検査 50人	保健福祉課

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績	担当課
			ハイリスク妊産婦アクセス支援事業	ハイリスク妊産婦の周産期母子医療センターの通院等に係る交通費等に対して上限100,000円を助成する。	7	助成件数 1件	保健福祉課
			伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金一体的実施事業	妊婦や子育て家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出生届出を行った妊産婦等に対し、経済的支援を一体的に実施する。	2,905	出産応援給付金 35人 子育て応援給付金 23人	保健福祉課
		子育て支援	移住・子育て住宅支援事業	移住者もしくは子育て世帯の住宅の新築または建売、中古住宅の購入及び住宅（空き家を含む）のリフォームをする方に対して、その経費の一部を助成。 【対象者】 ・補助対象住宅の所在地に住民登録があり、5年以上継続して居住している方（※申請時、当該所在地に住民登録がない場合は、実績報告までに住民登録することができる方） ・町税に滞納がない方 ・町その他制度の補助を受けておらず、また、過去に町が実施した住宅支援事業の補助を受けていない方 【支援内容】 ・新築または建売、中古住宅購入の補助金：工事費の3%で移住者の場合は上限額1,000千円、子育て世帯の場合は上限額500千円（工事費5,000千円以上のもの） ・リフォームの補助金：工事費の30%で上限額300千円（工事費300千円以上のもの） ・空き家等を活用する場合は、リフォームに上限額200千円を上乗せ。	4,326	新築 5件 中古住宅 1件 リフォーム 5件 計 11件 (うち、移住者2件、子育て世帯9件)	企画観光課
			大鰐の元気！もりもり子育て応援事業	出産・子育て世代の大鰐町に対する郷土愛の醸成と、大鰐産品の地域内利用を促進し、町ぐるみ「オール大鰐」での産業の活性化を促し、子育て支援の充実を図る。	1,491	贈呈実績：18人	農林課
			子ども医療費給付事業	0歳から18歳（高校3年相当）までの医療費について全額助成。	17,857	乳幼児医療費 6,166,302円（通院5,857,214円、入院309,088円） 対象者数：211人、給付件数：3,090件 子ども医療費 11,690,544円（通院10,612,449円、入院1,078,095円） 対象者数：462人、給付件数：2,532件	保健福祉課
			ひとり親家庭等医療費給付事業	18歳未満の児童を扶養するひとり親家庭等の父又は母及びその児童と、父母のいない児童の医療費を助成。 【対象者】 町内に住所を有するひとり親家庭等の18歳に達する日以降における最初の3月31日までの児童を養育する父又は母とその児童(所得制限あり) 【支援内容】 児童は全額助成、父又は母は医療機関ごとに1月に1,000円を控除した額を助成	4,879	母子家庭延人数 1,793人 3,976,927円 父子家庭延人数 281人 902,067円 合計 2,074人 4,878,994円	保健福祉課
			保育料軽減対策事業	保育所等の利用者負担額を軽減するため、第3子以降の保育料を軽減。 【対象者】 大鰐町から支給認定を受けた児童で、所得割合計が57,700円以上の世帯のうち保護者が3人以上の児童を扶養している場合、第3子以降が対象。 【支援内容】 所得階層に応じた算定方法により保育料を軽減。	195	保育料軽減対策分：194,595円 保育料軽減事業対象児童数：4～8月 5人、9～3月 7人	保健福祉課

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績	担当課
			予防接種推進事業	予防接種法に基づき、各種予防接種を公費で負担。	8,370	不活化ポリオ 0人、麻しん風しん 72人、四種混合 102人、日本脳炎 166人、BCG 19人、水痘 59人、ヒブ 88人、二種混合 39人、小児肺炎球菌 91人、B型肝炎 63人、子宮頸がん 60人、ロタウイルス 59人	保健福祉課
			遺児入学祝金等給付事業	義務教育修了前の遺児等に弔慰金及び入学・卒業祝金を給付。 【対象者】 町内に住所を有する父、母又は父母を亡くした等の義務教育終了までの児童 【支援内容】 弔慰金：10,000円、入学祝金（小学校・中学校）：7,000円、卒業祝金（中学校）：10,000円	34	入学祝金：2名 14,000円 卒業祝金：2名 20,000円	保健福祉課
			就学援助費	・就学援助費・特別支援就学奨励費 経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の保護者等に対して教育を受ける上で必要な学用品費等や学校給食費を扶助する。 ・遠距離通学費 遠距離地域から通学する児童生徒の保護者に対して、通学費の全額又は一部を扶助する。	6,254	【小学校】計：4,183,131円 学用品費等：1,680,391円、給食費：0円、遠距離通学：2,502,740円 【中学校】計：2,070,581円 学用品費等：1,140,821円、給食費：0円、遠距離通学：929,760円	学務生涯学習課
			インフルエンザ予防接種支援事業	6か月から18歳（高校3年相当）までのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成。 【対象者】 町内に住所を有する6か月から18歳（高校3年相当）の方 【支援内容】 6か月から12歳：接種費用1回につき3,000円を2回助成 13歳から18歳（高校3年相当）：接種費用3,000円を助成	2,369	6か月から6歳（小学校就学前）：2回接種141人、1回のみ接種42人 7歳から12歳：2回接種138人、1回のみ接種61人 13歳から18歳（高校3年相当）：134人	保健福祉課
			保育事業	延長保育事業、一時預かり事業、障がい児保育事業	7,153	延長保育事業：2,567,800円（3か所） 一時預かり事業：1,045,800円（1か所） 地域子育て支援拠点事業：2,458,406円（1か所） 障がい児保育事業：1,080,000円（2か所）	保健福祉課
			放課後保育事業	中央児童館管理委託料、放課後児童健全育成事業、母親クラブ活動費補助金、放課後子ども教室推進事業費	37,410	中央児童館管理委託料：12,977,995円（大鰐町社会福祉協議会へ指定管理） 放課後児童健全育成事業：5,272,404円（総合福祉センター：27人/日） 母親クラブ活動費補助金：166,880円 放課後子ども教室推進事業：1,363,653円（中央公民館：13人/日） 中央児童館管理委託料：11,592,743円（大鰐町社会福祉協議会へ指定管理） 放課後児童健全育成事業委託料：4,618,574円 放課後児童クラブ：25人/日、その他：7人/日 母親クラブ活動費補助金：111,000円 放課後子ども教室推進事業：1,305,238円（中央公民館：9人/日）	保健福祉課 学務生涯学習課
		未来の人財づくり	特別支援教育支援事業	小・中学校の普通学級に在籍する、学習障害や多動傾向等により、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置	10,890	令和4年度は、小学校へ3人、中学校へ2人を配置し、学習支援や問題行動がある児童生徒への対応を行った。特別支援教育支援員を配置したことにより、支援が必要な児童生徒に手厚い対応が行うことができた。	学務生涯学習課
			生きる力育成事業	学校長が大鰐町総合振興計画に基づいた独自性のある学校経営を行い、特色ある学校づくりができるよう補助金の交付を行う。 【対象となる事業】 学力向上につながる事業、体験学習（文化活動）推進事業、ものづくり（芸術・研究テーマ）支援事業、その他教育長が認める事業	1,079	小学校では、鰯っこ暗唱詩集を作成し、文芸作品を暗唱させることで、文学的興味や関心を高めるとともに、豊かな心を育てている。また、スキー教室の実施により、ふるさとへの愛着を育む活動を行っている。 中学校では、学力の向上を図る取り組みとして、問題集の購入や、実力テストを実施して学力の分析を行っている。また、総合的な学習の時間においてキャリア講話を実施し、目標を高く持ち、努力を惜しまないことの大切さについて考える機会を与えることができた。	学務生涯学習課

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績	担当課
3 大鰐町の魅力を高め、わがふるさとへの創造	① 安全・安心なふるさとづくり		児童通学安全対策事業	平成27年度から、1つの小学校に統合され、一部児童は通行量の多い慣れな道路を通学しなければならない。また、スクールバスも運行するが、道路状況が悪く、学校から離れた場所に停車せざるを得ないことから登下校の安全確保が懸念されている。そのため、小学校までの通学路の危険箇所に通学指導員を配置する。	2,190	通学指導員：登校時6箇所、下校時3箇所配置 4、5月は小学校から福祉センターまでの下校時に2名配置 ※新入生が福祉センターまで下校する際の安全確保及び指導のため。 指導員配置箇所における交通事故発生件数：0件 通学指導員謝礼：1,889,000円 通学指導業務委託料：300,608円	学務生涯学習課
		地域共生社会の推進	コミュニティ助成事業	主に各区会に対し、地区の集会センター等の施設備品等の整備に係る経費を自治総合センターの宝くじコミュニティ助成を活用し、助成している。 上限2,500千円。	2,300	駒木区会へ助成し、集会施設における備品を整備した。 (エアコン、テレビ)	企画観光課
		平均寿命を1歳延ばそうプロジェクト	健康イベント事業	平均寿命を1歳延ばそうプロジェクトを推進し、健康イベントを実施する。	145	二十歳の集い 38人(パンフレット配布) 健康イベント(出張健康鑑定団 in 児童館まつり、出張健康鑑定団 in まるごと大鰐秋の感謝祭、健康フェスタ in 鰐 come、健康パトロール in 鰐 come) 344人	保健福祉課
			健診・がん検診事業の拡充	生活習慣病の予防と早期発見・早期対応・早期治療のため、特定健康診査、各種がん検診、骨密度検診、歯周疾患検診、肝炎検査、胃がんリスク検診を実施する。 各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨密度検診の自己負担金を無料としている。 また、生活習慣病の早期発見のため、30歳～39歳に基本健康診査を実施している。	32,072	特定健康診査(生保受給者)7人、基本健康診査(30～39歳)41人、胃がん検診1,084人、大腸がん検診1,795人、肺がん検診1,544人、子宮頸がん検診525人、乳がん検診457人、骨密度検査86人、歯周病検診23人、肝炎検査B型153人、C型154人、 胃がんリスク検診72人  特定健康診査 834人 国保人間ドック受診者 105人	保健福祉課 住民生活課
			健康の日の推進等	地区や団体の会合に出向き、健康測定をする出張健康鑑定団を実施する。	344	出張健康鑑定団 15回、延べ428人 おおわに健康情報便を毎戸配布により発行(4回) 血管年齢測定(庁内実施)36人	保健福祉課
			高齢者予防接種推進事業	予防接種法に基づき予防接種を実施。 【対象者】 ①町内に住所を有する65歳以上の方 ②町内に住所を有する65、70、75、80、85、90、95、100歳の方。 ただし、過去に接種した方は除く。 【支援内容】 ①インフルエンザ予防接種：接種費用1回につき3,000円を1回助成。 ②高齢者肺炎球菌予防接種：接種費用7,332円を上限に助成。	8,705	インフルエンザ予防接種：7,195千円、2,405人 高齢者肺炎球菌予防接種：1,510千円、207人	保健福祉課
		雪対策	流融雪溝整備	流融雪溝の整備	37,675	居土地区の融雪溝整備工事：L=192.7m 苦木地区の融雪溝整備に関わる測量設計：L=820m	建設課
安全・安心な福祉対策	自殺予防対策事業	「こころの体温計」「こころの相談会」「ゲートキーパー養成講座」を実施。 「こころの体温計」はインターネットで誰でも利用可能。 「こころの相談会」は各相談会毎に事前申し込みして利用。 健康フェスタにおいて福祉系のコーナーを設置し、普及啓発グッズを配付する等、自殺予防を周知。 「いのちとこころを支える大鰐町自殺対策計画」を策定。 (平成31年度から令和5年度の5か年計画) つなぎシートの運用。(令和3年度開始)	259	・ゲートキーパー養成講座：町消防団を対象に講座を実施。参加者数39人。 ・こころの相談会：司法書士、精神保健福祉士、保健師による総合的な相談会を1回実施。利用者は1人。 ・こころの体温計：インターネット上で、現在の心の状態を確認することが出来るシステムを運用。アクセス数は4,657件。 ・9月の自殺対策週間及び3月の強化月間の際に、広報での周知や庁内展示を実施。 ・イベントや窓口にて配布する普及啓発グッズを作成。 ・窓口におけるポケットティッシュの配布。 ・健康イベントにおいて自殺予防関連チラシを配布。 ・大鰐町のちとこころを支える自殺対策本部会議及び大鰐町自殺対策ネットワーク会議(大鰐町健康づくり推進協議会)を開催し、本町における自殺の現状及び計画の進捗状況について検討し、情報共有を図った。 ・つなぎシートの活用状況：2件	保健福祉課		

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績	担当課
			見守り活動推進事業	ほのぼの交流協力員や民生委員・児童委員をはじめとする住民と、新聞配達業者や宅配業者等の民間事業者の協力等により、さまざまな見守り活動を広範かつ重層的に実施し、見守りの強化を図ることにより、高齢者や障害者をはじめ、誰もが共に支え合い、住み慣れた地域の中で、安心して暮らせるような地域福祉社会を構築することを目的として実施。主にほのぼの交流協力員事業、見守り活動推進事業の2事業を実施。	288	ほのぼの交流協力員数：49人 住民のつどいの場実施の支援：1回（声かけ・周知・当日の参加等） 見守り活動推進事業として、アンケート調査、マスク配布、見守り活動に係る普及啓発等を実施。	保健福祉課
			福祉安心電話サービス事業	概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯並びにこれに準ずる世帯に属する高齢者を対象に緊急通報装置（福祉安心電話）を設置することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図ること、また地域のつながりを維持することを目的として装置設置費及び維持費等の一部を助成	74	新規設置台数：3台（保存機種設置3台） 取り外し台数：2台 総設置台数：11台（停止中3台） 機種更新台数：0台 利用状況：通報9件 （緊急5件、停電1件、相談0件、電源投入2件、電池切れ1件）	保健福祉課
			認知症施策推進事業	認知症機能低下予防事業、さわやかシニア教室、もの忘れ検診、成年後見制度普及啓発、健やか・見守りネットワーク模擬訓練、徘徊高齢者の早期発見・保護事業、認知症介護家族の集い、認知症カフェ、成年後見制度利用支援事業、認知症サポーター養成事業等を実施。また、認知症地域支援推進員の配置及び認知症初期集中支援チームを設置。	1,610	認知症サポーター養成事業（3回、61人） 認知症カフェ（5回） 介護予防教室（12回、延70人） さわやかシニア教室（教室型48回、通信型1回、延べ1,560人） もの忘れ検診（2回、21人） 徘徊高齢者の早期発見・保護事業（見守りカード交付4人、登録9人） 認知症初期集中支援事業：チェックリスト配布件数212（回収率59%） 認知症介護家族の集い（4回、延14人） 成年後見制度普及啓発：相談件数11件、成年後見制度町長申立2件。	保健福祉課
	安全・安心な医療体制の整備		医療確保対策事業	広域における医療確保のための各種負担金等 医師確保対策事業負担金、弘前市二次救急輪番制病院運営事業負担金、休日在宅医師診療運営事業負担金、高度救命救急センター運営費補助金、弘前市急患診療所管理運営費負担金	8,105	県救急医療情報システム負担金：2千円 医師確保対策事業負担金：233千円 弘前市二次救急輪番制病院運営事業負担金：1,905千円 休日在宅医師診療運営事業負担金：98千円 高度救命救急センター運営費補助金：3,809千円 弘前市急患診療所管理運営費負担金：2,058千円	保健福祉課
	安全・安心な防災対策		防災対策事業	防災対策の強化を実施する。	49,265	消防団車両の更新、非常用食料の備蓄を計画的に実施。 また、簡易無線機の更新や災害用ポータブル蓄電池の整備等、防災体制の強化を図った。	総務課
	公共交通の活性化		公共交通活性化事業	【デマンドバス】 町内3路線（デマンドバス）の運行経費に助成。 【弘南鉄道】 弘南鉄道の利用促進に係る経費、運行費及び安全輸送整備費等を補助。 【その他】 その他各公共交通を維持するための補助を実施。	60,409	デマンドバス運行補助金：29,204千円 弘南鉄道活性化支援協議会負担金等：16,007千円 その他公共交通維持補助金：15,198千円	企画観光課

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績	担当課
② ふるさと魅力アップ	ふるさと魅力アップ	ふるさと教育	青少年社会参加活動事業	ふるさと教育に対する支援。(OH!! 鰐 元気隊キッズへの補助金) 大鰐町の特産品の店頭販売体験等を実施するために交通費等を補助。	140	例年は首都圏にて販売体験を実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、八戸市にて実施。元気隊キッズが大鰐町の特産品の販売をしながら、町のPR活動を実施した。	学務生涯学習課
		魅力発信事業	町の観光資源の魅力や価値を高め、イベント効果による来町者の増加で地域経済の活性化を図った。	2,012	町の観光資源の魅力や価値を高めるため、各イベント(万国ホラ吹き大会、サマーフェスティバル)を補助することにより、町の伝統文化の継承や住民が活躍する場を創出し、町のPR及び経済の活性化に繋がった。 また、町パンフレットの内容を更新し、町内外の観光施設等に配架することにより、町のPR及び来町者の増加に繋がった。	企画観光課	
		スキー育成環境整備事業	大鰐町の小・中学生に対して大鰐温泉スキー場のリフト料金を無料とする。 【対象者】 大鰐町内の小・中学校に在学している児童・生徒及び大鰐町に住所を有し、町外の小・中学校に就学している児童・生徒 【支援内容】 大鰐温泉スキー場のリフト1日券が無料 1シーズンの利用回数は5回まで	623	(延べ人数) 小学生 355人 408,250円 中学生 138人 213,900円 計 493人 622,150円	学務生涯学習課	
		ふるさと納税推進事業	ふるさと納税を推進していくため、ふるさと納税収納代行業務を「(株)さとふる」、「楽天(株)」への委託により実施。	8,330	インターネットのポータルサイトに掲載し受付している。令和4年度のふるさと納税寄付額は、17,570千円。	企画観光課	
		文化団体等育成支援事業	各種文化団体等へ補助。 子ども会育成連合会補助金、連合婦人会補助金、PTA連合会補助金、文化協会補助金、環境文化ボランティア協会補助金、青少年健全育成協議会補助金、俳句の町づくり実行推進委員会補助金、大鰐町読書推進会補助金、三ツ目内獅子踊り保存会補助金、大鰐居士登山囃子保存会補助金、大鰐登山囃子保存会補助金	971	子ども会育成連合会補助金：65,000円 連合婦人会補助金：199,000円 PTA連合会補助金 56,000円 文化協会補助金：162,000円 環境文化ボランティア協会補助金：51,200円 青少年健全育成協議会補助金：73,000円 俳句の町づくり実行推進委員会補助金：216,000円 大鰐町読書推進会補助金：40,000円 三ツ目内獅子踊り保存会補助金：36,000円 大鰐居士登山囃子保存会補助金：36,000円 大鰐登山囃子保存会補助金：36,000円	学務生涯学習課	
4 新しいひとの流れによる ふるさとの創生	① 住みやすいわがまちづくり	住宅支援	空き家等対策事業	空き家等の適正管理、積極的な利活用、管理不全な空き家の抑制を図るために、空き家等対策計画に基づき、取組を実施。	955	・空き家等所有者特定業務 1件 ・特定空家解体 2件 ・空家等家財道具等処分 1件	建設課
			地域情報通信基盤整備事業	平成23年度より町全域に光ファイバの供用を開始している。光ファイバは町所有である。町内であればどこでも光ファイバに接続できる。	9,718	光ファイバケーブルの保守管理を実施。 (光ファイバケーブル保守点検委託料、電柱添架料、光ケーブルの移設工事等)	総務課
		UIターン支援	移住促進事業	県や圏域等で主催する移住セミナーへ参加し、移住検討者に対して町のPRや相談受付を実施。 また、移住や地域居住を希望・検討している方を対象に「おためし居住体験」を実施。	622	青森県UIターン・交流フェアや弘前圏域合同移住セミナー等に参加。首都圏で地方への移住を検討している相談者に対して、移住先での暮らし方を説明したほか、町のPRを実施。 また、移住や地域居住を希望・検討している方を対象に「おためし居住体験」を実施し、移住・定住の促進を図った。 移住相談件数 29件	企画観光課

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績	担当課
	② にぎわいコンベンツ	資源・人材を活かしたにぎわいづくり	公園整備・運営事業	あじやら公園、茶臼山公園、児童公園等を指定管理者に管理委託。	80,447	都市公園指定管理料 (あじやら公園、茶臼山公園の施設等改修及び維持管理)	建設課
			住民参加型まちづくり事業	地域住民が主体的に取り組む活動に対し補助金を交付する住民参加型まちづくり事業を実施。	2,579	申請件数 7件	企画観光課
			各種イベント活性化事業	四季を通して町内において各イベント(まるごと大鯉秋の感謝祭、ちどりあしまつり等)が実施されるよう各実行委員会に助成。イベントを実施しやすい環境の整備。	987	・まるごと大鯉秋の感謝祭: 987千円 ・ちどりあしまつり(中止)	企画観光課
		街なか商店活性化支援	まちあるき推進事業	9市町村で連携し、中南津軽地域のまち歩きを通して地域の魅力を発信。	125	まちなかコースを実施。まちあるき参加者 93人	企画観光課
		スポーツ行事の活性化支援	生涯スポーツ推進事業	地域住民が気軽にニュースポーツをとおして、健康や仲間づくりの推進を趣旨とした「ニュースポーツフェスティバル」を虹貝多目的広場を会場に実施。	333	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためニュースポーツフェスティバルは中止。(委員報酬及び事務費等を支出)	学務生涯学習課